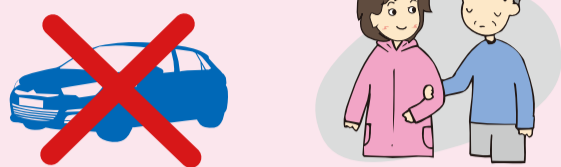


避難時の心得

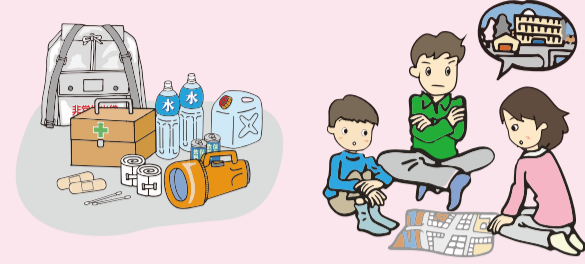
避難時はみんなで協力し、落ちていて安全に！

災害時の避難は、ふだん通っている道でも慎重に歩きましょう。
冠水した道路は足元が見えないため危険です。また、浸水している場所では車が動かなくなることがありますので、車の避難はやめましょう。



事前の準備が大事！

避難するときの荷物は最小限とし、事前に準備しておきましょう。
避難所までは、自分たちで決めておき安全に通行できるかあらかじめ確認しておきましょう。



避難所に行くことだけが、避難ではありません！

外が真っ暗だったり、浸水していて避難することが危険な場合は、**自宅のできるだけ上の階や、近くの頑丈な高い建物に避難してください。**これを**垂直避難**といいます。(土砂災害の危険があるため、山側の部屋は避けてください)



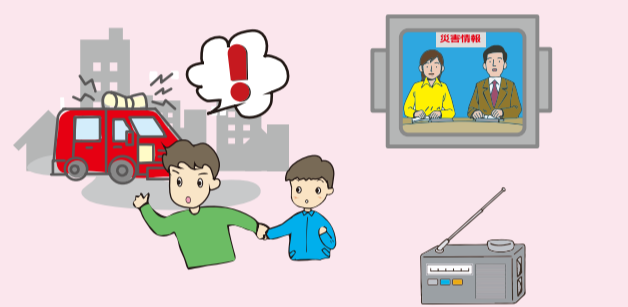
動きやすい服装 2人以上での避難！

避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。



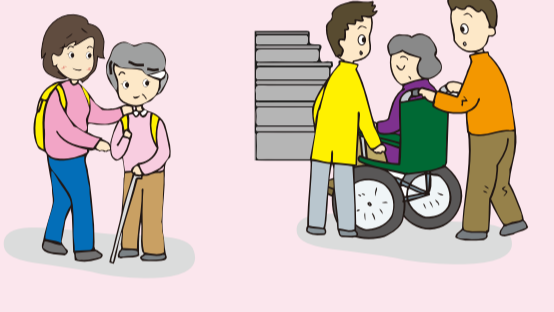
情報・呼びかけに注意！

ラジオ・テレビによる最新の気象情報、災害情報に注意し、役場や消防団から避難の呼びかけがあった場合には、速やかに避難しましょう。



協力しあって避難しよう！

お年寄りや子供、病気の方、体が不自由な方は、早めの避難が必要です。近所の方は、避難に支援が必要な方に協力しましょう。



土砂災害危険箇所の地形条件

土砂災害には、かけ崩れ、土石流、地すべりの3種類があります。

かけ崩れ 急傾斜地崩壊危険箇所及びかけ崩れによる被害のおそれがある区域

かけ崩れによる被害のおそれがある区域

傾斜度30°かつ高さ5m以上の急傾斜地で人家や公共施設に被害を生じおそれのある箇所を急傾斜地崩壊危険箇所としています。

かけ崩れによる被害のおそれがある区域とは、急傾斜地崩壊危険箇所、斜面の下部では斜面から50mを上限として斜面の高さの2倍以内、斜面の上部では斜面から斜面高さ以上を目安に設定した区域です。

前兆現象
がけからの水が落ち、がけに亀裂が入る。小石がバラバラ落ちてくる。

土石流 土石流危険渓流及び土石流による被害のおそれがある区域

土石流発生のおそれがあり、人家や公共施設に被害のおそれのある渓流を土石流危険渓流といいます。土石流危険渓流調査では、谷地形をしている渓流又は、過去に土石流が発生した渓流、土石流の発生のおそれのある渓流を土石流危険渓流として把握しました。

土石流による被害のおそれがある区域は、地形と土砂の堆積状況及び過去の土石流の氾濫実績を基に、想定される最大規模の土石流が氾濫するおそれがある区域です。土石流危険渓流調査では、土石流が発生する勾配15°から勾配3°になる地点を目安に、過去の実績、地形や堆積物から判断し、土石流による被害のおそれがある区域を把握しました。

前兆現象
山鳴りや、木の裂ける音、石のぶつかり合う音が聞こえる。雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。川の水が急に濁ったり、流木が混ざり始める。

地すべり 地すべり危険箇所及び地すべりによる被害のおそれがある区域

地すべりが発生している又は地すべりが発生するおそれがある箇所のうち、河川、道路、公共施設、人家等に被害を与えるおそれのある箇所を地すべり危険箇所としています。

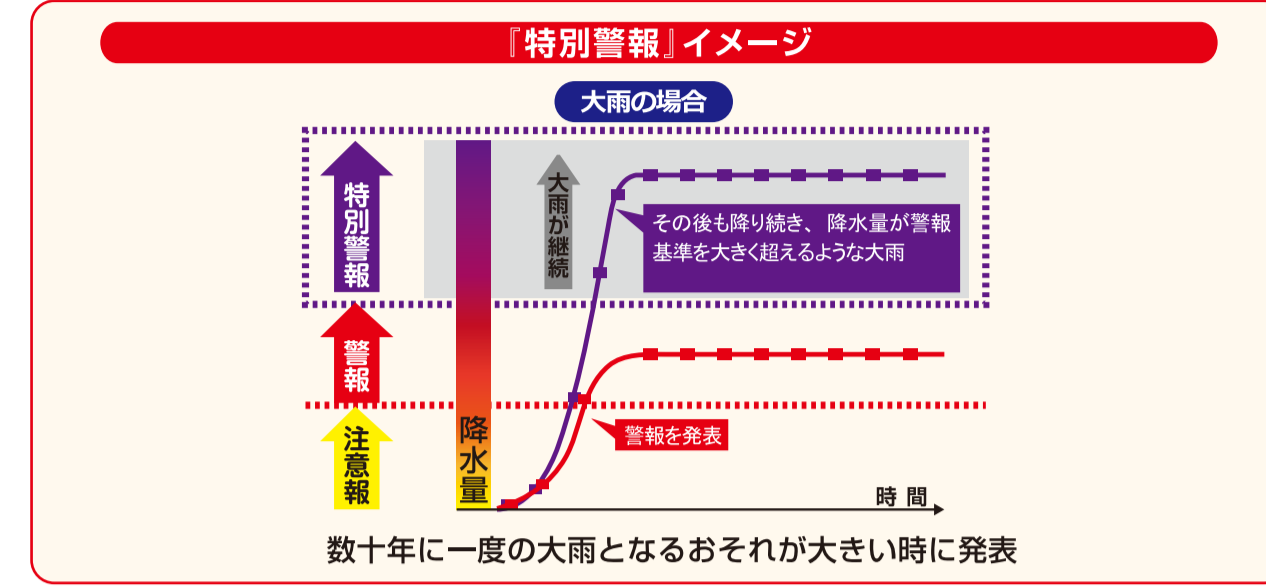
地すべりによる被害のおそれがある区域とは、地すべり危険箇所の下端から地すべり危険箇所の長さ又は250m以内の範囲を目安に設定した区域です。

前兆現象
地面にひび割れができる。沢や井戸の水が濁る。斜面から水が吹き出す。

『特別警報』について

平成25年8月から、新たに「特別警報」がスタートしました。これは、「東日本大震災」や「伊勢湾台風」といった、誰もが一度は聞いたことがあるような大災害が起こるおそれがある時に、住民の皆さんに最大限の警戒を呼びかけるものです。特別警報が発表された場合は、お住まいの地域ではこれまで経験したことのないような非常に危険な状況にありますので、ただちに命を守るための行動をとってください。

ただし、特別警報が発表されない場合でも災害が発生するおそれがあるので、注意報や警報、その他気象情報等の把握に努めてください。



特別警報の発表基準

| 現象の種類 | 基準 |
|---------|--|
| 大雨 | 台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合 |
| 暴風 | 暴風が吹くと予想される場合 |
| 高潮 | 高潮になると予想される場合 |
| 波浪 | 高波になると予想される場合 |
| 暴風雪 | 数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合 |
| 大雪 | 数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合 |
| 火山噴火 | 居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合(噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける) |
| 地震(地震動) | 震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合(緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける) |

気象庁「特別警報リーフレット」より引用

町を襲った災害の記憶

◎東日本大震災

2011年3月11日、三陸沖を震源とする国内観測史上最大、マグニチュード9.0の巨大地震が発生。宮城県東港市では震度7を、岩手県から千葉県の一部にわたって震度6弱以上が観測されました。

沿岸部では大規模な津波が発生し、最大で海岸から6km以内で浸水し、関東地方の埋立地では大規模な液状化現象も発生しました。この大地震により、死者・行方不明者は約2万人となり、未曾有の大惨事となりました。

浅川町においても震度6弱が観測され、人的被害では軽傷者3名、住宅被害では半壊1棟、一部損壊586棟が確認されたほか、いたるところで建物・塀等の一部倒壊などが見られ、道路の亀裂や陥没、農地等への被害も甚大でした。

町では3月11日15時、災害対策本部を設置し、あわせて第1回災害対策本部会議を開催。武道館を避難所として開設するための準備と被害状況の把握、一人暮らし高齢者を中心とした安否確認と消防団への出動を要請しました。災害対策本部会議は3月25日まで9回開催されました。地震発生時は停電になったものの、幸いにも町では断水はなく、停電も即日復旧したため著しい混乱は免れました。

地震に加え大きな問題になったのが、福島第一原子力発電所でした。運転中の1、2、3号機が自動停止し、津波によって外部電源を失い、原子力緊急事態宣言が発令。21時3分には半径3km以内の住民に避難命令、半径3～10km圏内の住民に屋内待機の指示が出されました。

翌12日には1号機で爆発が発生し、14日には3号機の建屋が爆発。15日にも2号機の建屋が爆発し、4号機でも爆発音が続くという大惨事により高い線量の放射性物質が放出されました。

12日に発生した1号機の水素爆発を受け、避難指示を受けた地域の方々や自主避難の方々や周辺自治体に避難をはじめ、浅川町には13日夕刻に避難者が到着し、4月9日の避難所閉鎖まで、170人の方が利用しました。

原発による放射能の影響が見えない中、連日のテレビ等による報道により、事故の深刻さが浮き彫りになり、放射能汚染による先の見えない不安と風評被害などが長く続きました。

◎令和元年東日本台風(台風第19号)

2019年10月12日から13日にかけて、大型の台風第19号が日本列島に上陸しました。浅川町では12日午後から13日未明にかけて連続降雨量が222.5mm、12日の1時間あたりの時間最大降雨量が22mmと、記録的な大雨となりました。

役場では災害対策本部を設置し、被害状況の確認や避難所の開設などにあたり、避難所となった武道館や旧里白石小学校、旧山白石小学校などでは避難者の受け入れが行われました。

町内では河川が氾濫し、護岸の崩壊等が46カ所、町道等の道路崩壊や路肩崩壊などが30カ所、通行止めも3カ所発生しました。さらに鉄道でも水郡線の軌道が約1kmにわたって洗掘し、2つの鉄橋が損傷したほか、電話回線の切断といった被害がありました。また建物でも住居の床上浸水が17世帯、床下浸水が9世帯、事業所・店舗・工場の床上浸水が7件ありました。



このほか農業関係では、農地被害が水田で351カ所(88ha)、畑で47カ所(9ha)、農道や水路といった農業用施設被害、農作物被害も数多く見られました。

台風第19号は被害規模が大きかったことから、後に気象庁によって令和元年東日本台風と命名されました。

災害用伝言サービス

これは、被災地域内やその他の地域の方々との「声の伝言版」です。一般加入電話・公衆電話・ひかり電話でご利用できます。

ご利用方法

- ◎「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音、再生を行ってください。
- ◎録音された伝言は被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。
- ◎提供開始や録音件数等、提供条件についてはNTTで決定し、テレビ・ラジオなどでお知らせいたします。
- ◎暗証番号(任意の数字4桁)により他人に聞かれない伝言など特定の方々との伝言録音・再生もできます。

伝言の録音方法

171にダイヤル

ガイダンスが流れます

録音の場合 1

ガイダンスが流れます

(XXXX)XXXX-XXXX

伝言の再生方法

171にダイヤル

ガイダンスが流れます

再生の場合 2

ガイダンスが流れます

(XXXX)XXXX-XXXX

被災地内の方も、被災地外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

※他通信事業者の電話からは一部ご利用できない場合があります。
※毎月1日(0:00~24:00)は体験利用できます。

携帯電話 災害用伝言板サービス

震度6弱以上の地震などの大きな災害が発生した時に、携帯電話・PHSを利用して自身の安否情報を登録、家族や友人の安否情報を確認することができます。

それぞれの携帯電話・PHSの「トップページ」から「災害用伝言板」を選択してください。
※他社携帯・PHSおよびパソコンからなども、家族や友人の安否情報をご確認いただけます。

NTT ドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
au by KDDI <http://dengon.ezweb.ne.jp/softbank>
softbank <http://dengon.softbank.ne.jp>
イーモバイル <http://dengon.emnet.ne.jp>
ウィルコム <http://dengon.willcom-inc.com>

地震の揺れと想定される被害

| 震度 | 揺れの感じ方・想定される被害 | 震度 | 揺れの感じ方・想定される被害 |
|------|--|------|--|
| 震度0 | ●人は揺れを感じないが、地震計には記録される。 | 震度5強 | ●室内で静かになっている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。 ●室内で静かになっている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。 ●電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。 |
| 震度1 | ●室内で静かになっている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。 | 震度6弱 | ●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ●ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。 ●自動車の運転が困難となり、停止する車もある。 |
| 震度2 | ●室内で静かになっている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。 ●電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。 | 震度6強 | ●立っていることができず、はわないと動くことができない。 ●揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものも多くなる。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。 ●補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。 |
| 震度3 | ●室内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。 ●眠っている人の大半が目覚ます。 ●棚にある食器類が音を立てることがある。 ●電線が少し揺れる。 | 震度7 | ●立っていることができず、はわないと動くことができない。 ●揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ばしがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。 ●補強されているブロック塀も破損するものがある。 |
| 震度4 | ●ほとんどの人が驚く。 ●歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。 ●眠っている人のほとんどが、目を覚ます。 ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。 ●棚の悪い置物が、倒れることがある。 ●電線が大きく揺れる。自動車を運転して、揺れに気付く人がいる。 | 震度7 | ●大半の人が、恐怖を覚え、物につままりたいと感じる。 ●揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ばしがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。 ●補強されているブロック塀も破損するものがある。 |
| 震度5弱 | ●大半の人が、恐怖を覚え、物につままりたいと感じる。 ●揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ばしがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。 ●補強されているブロック塀も破損するものがある。 | | |

※気象庁震度階級関連解説表より作成

わが家の防災メモ

いざという時の連絡先・安否確認の手段などを、家族の間で確認しておきましょう。

| わが家の避難場所 | 家族の集合場所 | 災害時の緊急連絡先 | | |
|----------|---------|-----------|------------|--------|
| | | | | |
| 家族の名前 | 生年月日 | 血液型 | 会社・学校の電話番号 | 携帯電話番号 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

非常時持出品チェック

事前に確認しましょう。準備ができたら☑にチェック

※非常時持出品の重さの目安は、男性15kg、女性10kg程度にしましょう。

携帯ラジオと予備電池

懐中電灯と予備電池

ろうそく・マッチライター

防災ずきん・ヘルメット

水

市販の飲料水(3日以上)

非常食(自分以上(乾パン・缶詰等))

現金・貴重品

身分証明書

タオル

ロープ

小児に必要なもの

医薬品等(常備薬)

せっかく揃えた持出品も定期的に点検しないと使用できない場合があります。電池や缶詰などの賞味期限を半年に一度くらいは点検しましょう。

新型コロナ対策の備品

事前に確認しましょう。準備ができたら☑にチェック

マスク・フェイスガード

アルコール消毒液

ハンドクリーム

使い捨てビニール手袋

体温計

ウエットティッシュ

ビニール製ポンチョ/雨っぱ

浅川町役場 総務課 〒963-6292 福島県石川郡浅川町大字浅川字背戸谷地 112-15
TEL 0247-36-4121 / FAX 0247-36-2895
HP <http://www.town.asakawa.fukushima.jp/>